事例No.	214
公表年度	H28
団体の属性	指定都市
団体名	静岡県浜松市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・（行政改革）業務の効率化 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	民間活用

事例内容・タイトル

PPP/PFI（コンセッション方式）

出典

公営企業の経営のあり方に関する研究会

〔民間活用〕包括的民間委託（堺市）

資料1－12

背景

○ 行財政改革プログラムの歳入・歳出改革として、民間委託や事務処理の効率化等により、スリムで合理的な組織づくりを進めるため、経常的経費を抑制し、弾力的な財政運営への転換を図ることを目的に下水処理場施設及び下水道管路施設に係る維持管理等業務の民間委託を実施

概要

○ 下水処理場施設（泉北・石津）に係る維持管理業務（施設の運転操作及び監視制御、保守点検、少額修繕、水質管理、電力・薬品以外のユーティリティ調達等）について民間委託を実施
○ 下水道管路施設（美原下水道管理事務所管轄エリア）に係る維持管理業務（管路施設点検・清掃等業務、住民対応業務等）に加えて、布設後40年を経過した管路を対象にテレビカメラ・目視調査を実施し、管路長寿命化計画策定業務について民間委託を実施
○ 一方で、人材育成やノウハウ維持の観点から、直営による維持管理業務を継続して実施

効果

区分		期間	委託費	効果額	備考
処理場	泉北	H24～26年度	291百万円	185百万円	効果額はH19年度（直営最終年度）との比較
	石津	H25～26年度	330百万円		効果額はH20年度（直営最終年度）との比較
管路	美原	H26～27年度	327百万円	73百万円	効果額はH25年度（直営最終年度）との比較

※公共下水道事業

○ 委託に当たり、入札参加業者に業務要求水準書を提示し、入札金額と本業務に関する技術提案書等の内容を総合的に評価する総合評価方式を採用

〔民間活用〕PPP/PFI（コンセッション方式）（浜松市）①

資料1－13

西遠処理区



○事業の背景

○西遠流域下水道が平成28年4月1日に静岡県から浜松市に移管
○本市下水道処理水量の約6割を占める最大の処理区

○事業の目的

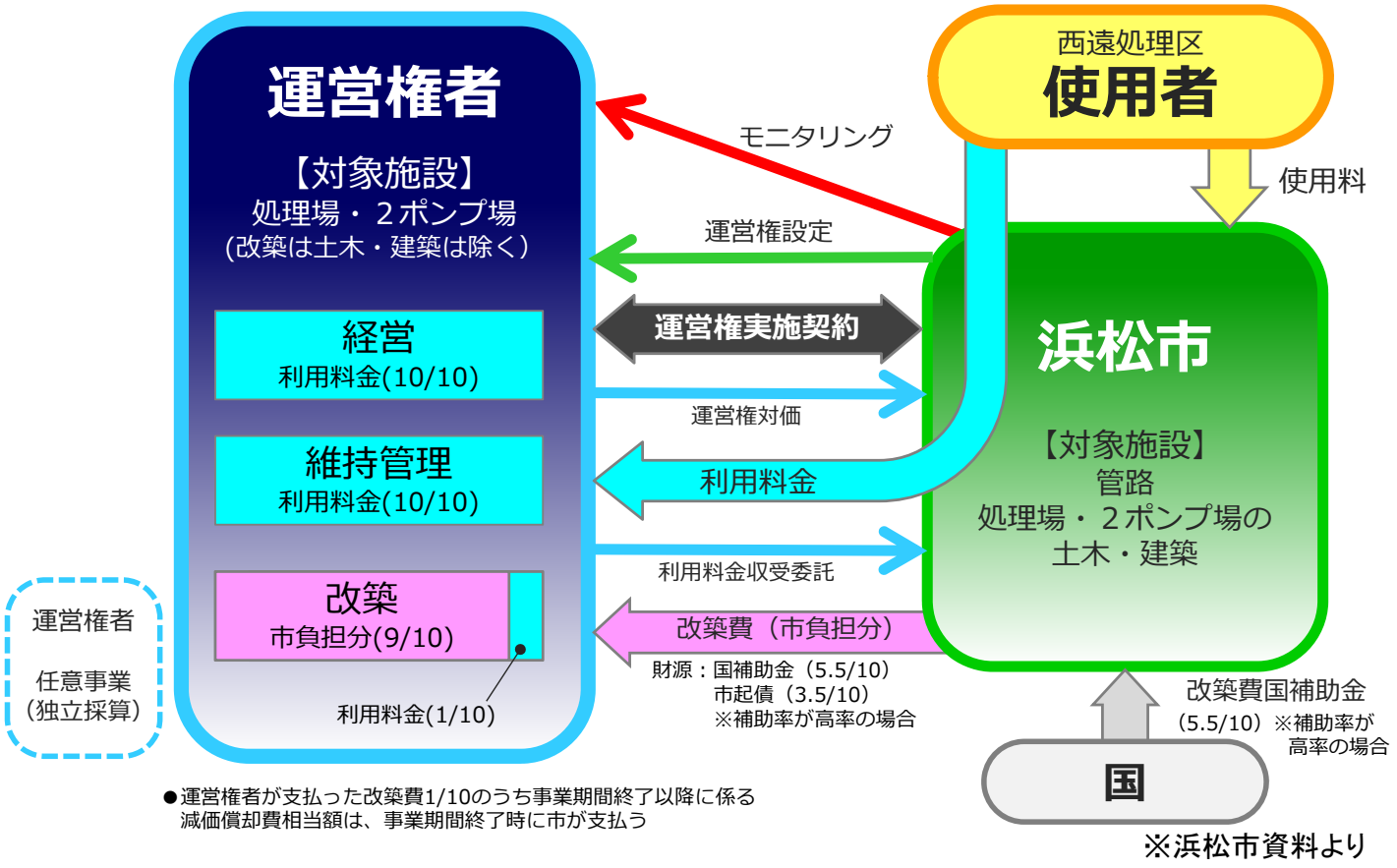
①事業効率化（コスト削減）
⇒長期契約、一括契約などのスケールメリットや民間の創意工夫の活用により効率化を実現
②民間活力を活用導入した適正な運営

○事業の概要

○事業方式：公共施設等運営事業（コンセッション方式）
○対象施設：西遠浄化センター
浜名中継ポンプ場及び阿蔵中継ポンプ場
（管路施設及び上記施設の土木・建築施設を除く）
○事業範囲：維持管理、改築工事、料金収受 など
○事業期間：20年（H30～49）

※浜松市資料より

〔民間活用〕PPP/PFI（コンセッション方式）（浜松市）②



●運営権者が支払った改築費1/10のうち事業期間終了以降に係る減価償却費相当額は、事業期間終了時に市が支払う

※浜松市資料より

〔民間譲渡〕官民バス網の再編（熊本市）①

資料１－14

1. 検討の背景

○ バス利用者数減に伴い公営・民営とも運賃収入が減少傾向にあった

○ 公営バス事業にあっては、営業費用（人件費）の負担が民間と比べ大きく、経営健全化計画の策定を要する経営体質となっており、一般会計補助金も10億円を超えていた

（単位：百万円）

H19 年度	営業収益	営業費用	営業収支	経常収入	経常支出	経常収支	バス運行補助金	一般会計補助金
民間４社	4,712	6,202	△1,490	4,820	6,311	△1,491	128	0
公営バス	1,667	2,864	△1,197	1,679	3,039	△1,360	73	1,033

（平成２１年５月　熊本市におけるバス事業の運行体制に関する意見書（中間答申案）より）

	一人当たり月平均給与支払額（円）	キロ当たり営業費用（円／ｋｍ）
民間４社	281,227	239.74
公営バス	541,865	495.96

（平成２１年５月　熊本市におけるバス事業の運行体制に関する意見書（中間答申案）より）



○ 複数の事業者が競合する現状を見直し、効率的な路線網の再編と運行体制の確立を行わなければ、路線の維持やサービス向上に向けた投資が困難な状況であった

○ こうした状況を踏まえ、平成22年３月に市営バスの全事業を民間譲渡する経営健全化計画を議会で議決